

令和元年度 通常議員総会を開催 30年度「事業報告・収支決算」承認される



通常議員総会で挨拶する小西会頭(6月27日)

6月27日舞鶴グランドホテルで、令和元年度通常議員総会を開催しました。会議には、委任状を含めて役員議員79人が出席。平成30年度の「事業報告」や、「一般会計収支決算」、「役員(監事)の補欠選任」など6議案が審議され、全て満場一致で承認されました。主な議案の概要は以下のとおりです。

事業報告 — 総括的概要 —

平成30年度わが国経済は、夏に相次いだ自然災害により、個人消費や輸出を中心に経済は一時的に押し下げられたものの、緩やかな回復が続きました。

企業収益が過去最高を記録する中で、設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、海外経済の先行きに不透明感があり、決して楽観はできませんが、経済の好循環は着実に回りつつあります。

しかしながら、「東京一極集中」と「地方都市の疲弊」、「少子高齢化」という大きな構造的課題は解決されない中で、地域の経済・社会を担う中小企業においては、収益力の格差拡大、人手不足による経営の持続性確保などは更に深刻化しているのが現状であります。

こうした状況下、本市においては、高速道路網の完成や、京都舞鶴港の機能強化事業の進捗など一連のインフラ整備によって、人流・物流は飛躍的に増加し、経済活動の機会が大きく拡がりました。

当商工会議所では、定住人口の減少を補うことのできる交流人口の拡大に向けた、自然や食、文化といった多様な地域資源を活かした観光振興によるインバウンドをはじめとする需要の取り込みはもとより、管内商工業者の新たな商品づくりの取り組みなどの事業を通じ、地域全体の「稼ぐ力」を強化するための努力を重ねてまいりました。

平成30年度の当商工会議所の運営にあたっては、「輝く未来を創る」をスローガンに、「みんなで、まちの賑わいを創出」、「企業の『稼ぐ力』を磨く」、「頼りがいのある商工会議所をめざして」の三つを基本方針として掲げ、役員・議員・会員が一丸となって現場に立脚した活動を鋭意進めることで、地域社会全体からより多くの支持と信頼がいただける商工会議所を目指したところであり、そのあらましについては、次のとおりです。

事業報告 — 事項別項目(抜粋) —

1. 組織

- 会員数……………1,062事業所
- 部会……………10部会
- 委員会……………7委員会

- 特定商業者数……………726事業所
- 役員・議員……………会頭1人、副会頭3人、専務理事1人、監事3人、常務理事1人、常議員25人、議員79人(役員含む)